

嶺北地域アクションプランの進捗状況等について  
(第3四半期)



## 嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 2 . 9  
嶺北地域本部

### 1 地域アクションプランの平成 28 年度（第 3 四半期）の実施状況（総括）

#### (1) 総評

嶺北地域アクションプランは、全 23 件中 8 件が新規案件としてスタートし、嶺北 4 町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取り組みとベクトルを合わせながら推進している。

農業分野では、3 町が中山間農業複合経営拠点事業に取り組む中、JA 出資型法人（(株)れいほく未来）においては、都市圏からの研修生の受け入れが定着し、新規就農につながってきた。

畜産分野では、土佐あかうし、はちきん地鶏等が順調に増産されており、新たに、堆肥舎の整備や自給用飼料の栽培、食鳥処理・加工施設の整備を行うとともに、はちきん地鶏の首都圏での販売拡大に取り組んでいる。

林業分野では、12 月から高知おおとよ製材(株)がフル稼働体制に入り、集落活動センターにおける担い手育成やコンテナ苗の栽培の取り組みなどと合わせて、嶺北地域を 1 つのフィールドとした林業クラスターの形成が進んでいる。

特産品については、ぼうむ合同会社の新製品「土佐泡盛 REIHOKU」の販売や、木工製品の大手企業との業務提携など、新たな動きに期待が高まっている。

観光分野では、アウトドアの里づくり事業の実施設計の策定に向けた取り組みが始まり、山岳観光の拠点整備や、さめうら荘の改修についても協議が進められている。

また、これら全ての取り組みを進展させるために、広域連携による交流人口の拡大や移住対策、若者の定着が必須であるため、学生・若者と地域を結ぶ「ONE れいほく」による仕組みづくりを進めるべく、クラウドファンディングも活用しつつ、地域と共に取り組んでいる。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA 出資型法人（(株)れいほく未来）を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・JA 土佐れいほく</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む） ：12 人（H28～31 累計）＜H24～27 累計：8 人＞</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高 ：50,000 千円＜H26：23,670 千円＞</p> <p>米粉等の販売額：1.1 億円＜H26：1.04 億円＞</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む）：3 人 農業経営事業（園芸）売上高：38,500 千円 米粉等の販売額：1.1 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ事業実施：3 回・15 人参加</li> <li>・研修による新規就農者数：1 人</li> <li>・栽培講習会への参加：8 回</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育状況確認及び栽培管理指導：5回</li> <li>・農業基礎講座の開催：4回、参加者延べ17名</li> <li>・農業経営事業（園芸）売上高（12月末）：35,409千円 （前年同期比96.3%）</li> <li>・農商工連携基金事業による米粉の新商品開発：2件 （グルテンフリーの米粉ミックス粉、柚子羊羹の販売） ※年度末の販売開始を予定</li> <li>・米粉等の販売額（12月末）：0.8億円</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生の募集、受入、育成 ⇒農業に意欲のある研修生の確保・指導・育成及び 独立就農や雇用就農につなげるための就農支援</li> <li>・栽培技術の習得 ⇒育苗及び野菜栽培管理技術の向上による生産性の 向上（彩どりピーマン、米ナス等）及び冬作（スナップ エンドウ）の定着に向けた検討</li> <li>・米粉の新商品の販売促進 ⇒関西圏へのさらなる販売促進</li> <li>・米粉パン販売の継承（八菜館における米粉パン販売の中止） ⇒後継者の募集・育成</li> </ul>
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による 肉用牛産業の再興（本山町, 土佐町, 大豊町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 土佐れいほく</li> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・飼養者</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大豊町</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>土佐あかうしの販売額：3.0億円&lt;H26：1.5億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>土佐あかうしの販売額：2.8億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほく未来飼養頭数(12月末)：170頭(前年同期比137%) （繁殖雌牛107頭、肥育22頭、子牛41頭）</li> <li>・土佐町肉用牛推進協議会設立(6/10)</li> <li>・堆肥舎：畜産クラスター整備事業の農政局採択(8/2) 産振総合助金審査会採択(10/17)</li> <li>・レンタル畜舎整備事業：本山町1戸（12月着工）</li> <li>・第30回全農こうち枝肉共励会（11/21）にて優秀賞 ：れいほく未来</li> <li>・飼料用とうもろこし試験栽培：4反（交付金活用）</li> <li>・土佐あかうしの販売額（12月末）：176,179千円 （前年同期比103%）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育担当者の飼養管理技術の向上</li> <li>・自給飼料の確保 ⇒飼料用とうもろこし本格栽培：1.3町</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほく未来の水不足 ⇒汲み上げポンプ整備 (H29 こうち農業確立支援事業活用予定)</li> </ul>
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)むらびと本舗</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>黒牛の販売額: 54,900千円 &lt;H26: 34,000千円&gt; 出荷羽数: 12.5万羽 &lt;H26: 5.2万羽&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>黒牛の販売額: 40,000千円 出荷羽数: 8.0万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大川村PT産業振興部会の開催: 3回</li> <li>・黒牛肥育牛舎完成(4/21)</li> <li>・はちきん地鶏育雛鶏舎(朝谷1棟)完成(6/17)</li> <li>・食鳥処理・加工施設の整備 地方創生推進交付金採択(11/25) 産振総合補助金審査会採択(12/5)</li> <li>・顧問契約した商社OBを通じた首都圏での営業活動 (~12月)</li> <li>・黒牛販売額(12月末): 44,518千円(前年同期比131%)</li> <li>・出荷羽数(12月末): 45,735羽(前年同期比131%)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はちきん地鶏のブランド化 ⇒首都圏における営業活動の強化 (営業担当人材の増強と外商公社との連携)</li> <li>・高知県版HACCP認証取得 ⇒年度内に技術研修や資料作成等、HACCP申請に向けた準備</li> <li>・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 ⇒床暖房の効果による冬場の育成率、出荷平均体重の改善 肥育鶏舎(方田2棟)の整備(3月完成予定)</li> </ul>
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林所有者</li> <li>・自伐林家</li> <li>・森林組合</li> <li>・素材生産事業体</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>素材生産量: 130,000 m<sup>3</sup> &lt;H26: 98,515 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>素材生産量: 110,000 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材増産推進プロジェクトチーム会: 3回</li> <li>・森林組合支援ワーキング: 3回</li> <li>・森林組合支援チームをスタート(6月~): 8回</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知おおとよ製材(株)</li> <li>・大豊町</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議 (森林組合、事業体計 12 事業体)</li> <li>・間伐関係補助事業の周知</li> <li>・ストックヤード造成工事 (4 月着手、進入道完成、造成作業／進捗率は全体の 9%)</li> <li>・原木 (C 材) の安定供給に向けた各種制度の普及啓発</li> <li>・高知おおとよ製材(株)は 12 月からフル生産 新規採用者 5 名</li> <li>・チップ材出荷量累計 : 2, 825t</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬出間伐の生産性向上</li> <li>・皆伐事業地の拡大に伴う再生林の推進</li> <li>・林業事業体の体質強化 ⇒「森の工場」新規計画策定の検討 木材増産に向けた計画的な生産 (皆伐・搬出間伐)</li> <li>・林業従事者及び担い手の育成確保</li> <li>・原木の安定供給 ⇒必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整等 嶺北広域原木安定供給協議会の設立</li> </ul>
<p>■No.9 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)SUN SHOW</li> <li>・レイホク木材工業(協)</li> <li>・吉野川リビング(協)</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>木材の出荷量: 2, 000 m<sup>3</sup>&lt;H26 : 744 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木材の出荷量: 1, 200 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国内の販売活動の展開 県内銀行のビジネスマッチングにより香川県で営業活動を実施 : 1 回</li> <li>・建築棟数 (12 月末) : 15 棟 (385 m<sup>3</sup>) (香川県 : 7 棟 (122 m<sup>3</sup>)、高知県 : 8 棟 (263 m<sup>3</sup>))</li> <li>・レイホク木材工業(協)のホームページ開設 (6/17)</li> <li>・「木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン)」設置 (9/12)</li> <li>・地域材の特性や木造住宅のメリット等について学ぶセミナーの開催 : 2 回 (11/19、12/23)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北材の販路拡大 ⇒香川県を中心とした営業活動の展開 ⇒エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPRを強化</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者</li> <li>・(一財)本山町農業公社</li> <li>・土佐町森林組合</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売数量: 2,500kg &lt; H26: 2,350kg &gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売数量: 2,500kg</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の実態把握、生産増加のための訪問: 34回</li> <li>・本山町農業公社との打合せ: 17回</li> <li>・販売数量(12月末): 614kg (前年同期比25%)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量の増加 ⇒栽培放棄地の生産委託の拡充 公社等による集出荷の検討</li> <li>・品質の向上 ⇒生産者に対する勉強会の開催 技術向上研修会(先進地視察)の開催</li> </ul>
<p>■No. 11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしはらの里協議会</li> <li>・土佐町</li> <li>・民間事業者((株)FPI)等</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業研修者: 60人(H28~31累計) &lt; H27: 0人 &gt;</p> <p>研修者の宿泊日数: 360泊(H28~31累計) &lt; H27: 0泊 &gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>林業研修者: 5人</p> <p>研修者の宿泊日数: 30泊</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修プログラムの検討: 10回 県立林業学校短期課程(小規模林業向けコース)の土佐町での開催が決定(H29.1月)</li> <li>研修日程(H29.1.15~27)及び内容の決定(12月)</li> <li>研修者募集開始(12月)</li> <li>・事業推進体制の検討: 1回 合同会社にて、事業推進担当役員を決定</li> <li>・研修フィールドの検討: 1回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修者確保対策 ⇒今年度実施内容の検証及びH29事業計画への反映</li> </ul>
<p>■No. 12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・NPO法人土佐さめうら観光協会</li> <li>・ポータルサイト利用事業者</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額: 85,200千円 &lt; H27: 0円 &gt;</p> <p>ポータルサイト年間売上高: 1,200千円 &lt; H26: 564千円 &gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額: 16,000千円</p> <p>ポータルサイト年間売上高: 700千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐町</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受発注管理システムを活用した地産外商の実施</li> <li>・商談会への参加：1回（面談：約30件）</li> <li>・大阪への営業：3回</li> <li>・直接取引飲食店等：19件</li> <li>・直接取引関係生産者等：21件</li> <li>・県外飲食店等との直接取引による販売額（12月末）：6,228千円</li> <li>・HPへのアクセス数：3,920件</li> <li>・ポータルサイト年間売上高：306千円（前年比42%）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立</li> <li>・計画的な農畜産物の生産体制構築 ⇒嶺北全体における集荷の仕組みづくりのため、生産事業者等への呼びかけ</li> <li>・ポータルサイトのリニューアルの検討</li> </ul>
<p>■No.13 クラウドファンディングを活用した地域活性化（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会</li> <li>・商工会</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標（H31）]</p> <p>調達額：15,000千円（H28～31累計）＜H27：0円＞ 嶺北地域のプロジェクト数：5件＜H27：0件＞</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>調達額：5,000千円 嶺北地域のプロジェクト数：2件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FAAVO 高知開設（4/6）</li> <li>・サブオーナー（嶺北地域）連携会議：7回</li> <li>・嶺北地域のプロジェクト数：3件 調達額合計：1,499千円</li> <li>PT①達成 6/22 車イス対応テーブル 調達額：370千円、支持者：37人</li> <li>PT②達成 9/27 デザイナーズワンカップ泡盛 調達額1,129千円、支持者：119人</li> <li>PT③開始 12/22 本山町シェアハウス 目標額3,500千円</li> <li>※その他 嶺北地域外のPT：3件</li> <li>・産業振興アドバイザー制度の活用（利用者掘り起こしのためのアイデアソン）：2回（7/5、10/8）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の掘り起こし及び地域住民の参加促進・啓発 ⇒嶺北地域における勉強会及びアイデアソンの開催 (2月予定)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組(本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ばうむ合同会社</li> <li>・本山町</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>木工製品全般の売上高: 89,000千円&lt;H26: 33,000千円&gt;  焼酎の販売額: 19,590千円&lt;H26: 4,655千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木工製品全般の売上高: 74,000千円  焼酎の販売額: 7,750千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手企業との業務提携によるレーザー加工品の製造販売</li> <li>・産振総合補助金(採択4/8)を活用した施設・設備の拡充(6月)(総事業費: 34,145千円、補助金額: 15,807千円)</li> <li>・正職員の新規雇用: 2名  さらにH29.4月新規雇用内定: 1名</li> <li>・派遣職員の受入: 1名(12月~)</li> <li>・大学生・一般インターンシップ受入: 6名(7~12月)</li> <li>・県外での販路拡大・販売促進活動(11月末)  新規取引先: 9件  取引先累計: 170件</li> <li>・売上高(12月末): 19,643千円(前年同期比76%)</li> </ul> <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐泡盛 REIHOKU を新発売(6月)</li> <li>・商談会・フェアへの出展(11月末): 5回</li> <li>・イベントでのPR販売(11月末): 15回</li> <li>・ひろめ市場での試飲販売(6月から毎月1回)</li> <li>・県庁での土佐泡盛お披露目販売(7/12~7/13)</li> <li>・新聞・雑誌への記事掲載(11月末): 2回</li> <li>・テレビでの放映(11月末): 8回</li> <li>・クラウドファンディング FAAVO 高知で土佐泡盛ワンカップ製造資金を調達</li> <li>・土佐泡盛のPR、ファンづくりを目指した高知市での「土佐泡盛を楽しむタベ」の開催(11月)</li> <li>・新規取引先(11月末): 25店舗</li> <li>・取引先累計(11月末): 206店舗</li> <li>・販売本数(11月末): 4,129本(前年同期比187%)</li> <li>・販売額(11月末): 5,446千円(前年同期比250%)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の増加</li> <li>・認知度の向上</li> </ul> <p>⇒木工製品の県内小売店への営業活動の強化  土佐泡盛ワンカップの販売開始(1月)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豊町碁石茶協同組合</li> <li>・(株)大豊ゆとりファーム</li> <li>・大豊町</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.6億円&lt;H26:0.1億円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.2億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販促活動:8回(延べ28日)</li> <li>・碁石茶関連商品の総販売額(1~10月):0.4億円(前年同期比47%)</li> <li>・碁石茶の製造体験プログラムによる生産補助者の受入(6/19~7/31:5人、7/1~8/25:5人)</li> <li>・碁石茶生産量(1法人、農家3戸)(12月末):1.2t</li> <li>・碁石茶審査会(9/27)</li> <li>・知的財産セミナーの実施(9/27)</li> <li>・機能性表示の臨床実験(高知大)開始(10月~)</li> <li>・タイ・チェンマイとの交流</li> <li>・地方創生推進交付金の活用による碁石茶製造施設の整備(12月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規生産者の育成・確保 ⇒翌年度も碁石茶親衛隊の募集予定 地域おこし協力隊を導入予定</li> <li>・販路の維持・拡大 ⇒機能性表示等の活用による付加価値の向上</li> </ul>
<p>■No. 16 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さめうらこむ</li> <li>・犬小屋製作工房K</li> <li>・土佐地区商工会</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>注文数:750件&lt;H27:500件&gt; [犬小屋製作工房K] 従業者数:6人&lt;H27:4人&gt; [さめうらこむ]</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>注文数:500件 [犬小屋製作工房K] 従業者数:4人 [さめうらこむ]</p> <p>[取組状況]</p> <p>[犬小屋製作工房K]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新工場予定地の農地転用手続き申請(4月)</li> <li>・オンライン及び紙面での商品PR・販売</li> <li>・注文数(11月末):383件 [さめうらこむ]</li> <li>・新規製造者の受入(4月)</li> <li>・従業者数(12月末):5人(うち新規2人)</li> <li>・オンラインでの商品PR・販売</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>[犬小屋製作工房 K]</p> <p>効率的な製造ライン確保のための新工場の整備 ⇒新工場建設予定地の農地転用手続きの年度内完了 産振総合補助金活用に向けた協議</p> <p>[さめうらこむ]</p> <p>製品のクオリティ向上 ⇒木工による地域産業活性化のための人材育成</p>
<p>■No. 18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本山町</li> <li>・ 大豊町</li> <li>・ 土佐町</li> <li>・ 大川村</li> <li>・ 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数：50,000人&lt;H27：0人&gt; 白髪山・工石山への観光客数 ：200人 (H28～31 累計) &lt;H24～26 累計：58人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数：－ 白髪山・工石山への観光客数：10人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施設計の策定に向けた取り組み開始 (10月～)</li> <li>・ 高知・本山アウトドアの里づくり推進協議会：3回</li> <li>・ アウトドアの里づくり推進協議会打合せ：2回</li> <li>・ 嶺北地域4町村観光担当課長会：3回</li> <li>・ アウトドアの里づくり 団体との意見交換会：4回</li> <li>・ 本山町白髪山・工石山保全活用協議会総会：1回</li> <li>・ 県の観光拠点等整備事業費補助金交付決定 (9/8) 本山町アウトドアの里拠点施設整備事業の実施設計委託 (2月～ (予定))</li> <li>・ 白髪山「八反奈呂 根下がりヒノキ群生地」の県天然記念物指定 (5/17)</li> <li>・ 白髪山モニターツアー：1回、参加者11名</li> <li>・ 白髪山ガイド研修：1回、参加者11名</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アウトドア拠点開設に向けたスケジュール及び詳細事項の早期確定 ⇒実施設計の早期策定</li> <li>・ 嶺北広域での事業展開 ⇒交付金を活用した広域連携事業の実施 ⇒嶺北高校とも連携した世界的カヌー指導者の招へい ⇒広域観光組織の機能強化</li> <li>・ 天然記念物を中心にした散策ルートの設置及びガイド育成</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>工石山「紅れん石」の県天然記念物指定に向けた申請 ⇒年度内に申請を予定</li> </ul>
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大川村</li> <li>(一社) 大川村ふるさとむら公社</li> <li>本山町</li> <li>大豊町</li> <li>土佐町</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>白滝の里施設利用者数：15,000人&lt;H26：6,175人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>白滝の里施設利用者数：10,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大川村白滝の里観光交流基本構想策定委員会：2回</li> <li>大川村白滝の里観光交流基本構想ワークショップ：3回</li> <li>ホールアースとの協議（本社）：1回</li> <li>大川村PT観光・交流部会：8回</li> <li>モニターツアー：2回、参加者39名</li> <li>いなかビジネスマネージャー合同研修：1回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想の年度内策定と実行準備</li> <li>既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 ⇒モニターツアーによる検証や新規のプログラム開発 ⇒「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」ワーキンググループとの連携（愛媛県西条市・久万高原町、いの町、山岳観光関係団体等）</li> <li>人材の育成・確保（プロジェクトリーダー等） ⇒専門研修やOJT研修の実施</li> </ul>
<p>■No. 20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等</li> <li>土佐町</li> <li>大川村</li> <li>本山町</li> <li>大豊町</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>さめうら荘利用者（宿泊・レストラン）数：2.5万人&lt;H26：2万人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>さめうら荘利用者（宿泊・レストラン）数：2.1万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さめうら荘利用者数（12/18時点）：17,174人 (前年同期比99%)</li> <li>イベント参加者数（12/18時点）：延べ約700名 スポーツフィッシング大会等：9回 湖上清掃：1回 SUP体験：4回 ウォータースポーツ体験：4回 水上バイク水難救助講習：1回 ロードバイクイベント：1回 安全航行講習：1回</li> <li>さめうら荘建設検討委員会：1回</li> <li>さめうら荘建設に係るワーキンググループ：3回</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用者が訪れる取り組みの構築 ⇒サイクリングコースの環境整備(スタンド等) 大川村の集落活動センターと連携した湖面アクティビティの検討</li> <li>さめうら荘建設に向けた検討 ⇒H29.3月中に基本設計を策定し、H29.4月以降に実施設計に着手予定</li> </ul>
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほく田舎暮らしネットワーク</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>移住者数 : 280人(H28~31累計) &lt;H24~26累計: 214人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>移住者数: 100人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進連絡会の開催: 9回</li> <li>・県外での移住相談会への参加: 5回(東京、大阪)</li> <li>・移住相談受付件数(11月末): 256件</li> <li>・空き家調査件数(11月末): 48件</li> <li>・移住実績(11月末): 37件52人(前年同期比63%)</li> <li>・土佐泡盛「REIHOKU」の企画・販売促進</li> <li>・お山のでづくり市の開催: 3回、参加者約1,600名</li> <li>・移住者等交流会の開催: 3回</li> <li>・土佐町中学校3年生総合学習(空き家再生)の支援: 6回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR、情報発信の強化 ⇒プロブロガーやNPO法人ONEれいほくとの連携</li> <li>・空き家の確保 ⇒町営住宅等の整備及び空き家改修補助金の活用促進</li> <li>・移住相談等増加への取り組み ⇒町独自の移住イベントの開催や、CCRC、教育魅力化等、新たな人の流れの構築</li> <li>・大川村における移住支援体制の確立 ⇒集落活動センター結いの里の機能拡充</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 学生・若者と地域の連携による事業 創出支援プラットフォーム「ONE れいほく」の 構築(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人 ONE れいほく</li> <li>・高知大学</li> <li>・嶺北高校</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>プロジェクト数: 7 件&lt;H27: 0 件&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>プロジェクト数: 4 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人登記 (6/15)</li> <li>・プロジェクトの受託 (11 月末): 5 件 <ul style="list-style-type: none"> <li>①大豊町「特産物等販売戦略委託業務」(5 月) 基石茶親衛隊/生産補助者の受入</li> <li>②土佐町「地域の未来を担う人材育成事業(マイプロジェクト)委託業務」(7 月)</li> <li>③オーシャンリース「FAAVO 高知サブオーナーパートナー」(8 月)</li> <li>④大豊町「農業インターンシップ事業委託業務」(8 月)</li> <li>⑤本山町「清流館利用促進事業委託業務」(9 月)</li> </ul> </li> <li>・教育委員会、学校への協力依頼 (5~6 月): 5 回</li> <li>・活動の PR (11 月末): 7 回</li> <li>・だいちハウスのイベント・ワークショップ(11 月末): 6 回</li> <li>・だいちハウス訪問者数 (11 月末): 延べ 524 人</li> <li>・ONE れいほくの関与による嶺北への移住者(11 月末): 6 件 8 人</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO の運営体制の確立</li> <li>・プロジェクト受託にかかる適切な事務処理 ⇒アドバイザーの活用等による会計事務の研修</li> </ul>
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス 創出による地域活性化の取組(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西峯地区活性化推進委員会</li> <li>・大豊町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>生産本数: 2 万本&lt;H27: 1,920 本&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>生産本数: 2 万本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・播種: 550g (4 月、6 月)</li> <li>・育苗ハウスの整備: 1 棟 (5 月)</li> <li>・コンテナへの移植: 19,880 本 (6 月、8 月、10 月)</li> <li>・栽培管理に関する勉強会: 2 回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植作業の効率化 ⇒コンテナ苗抜取機を 2 月に導入予定</li> <li>・発芽不良及び移植後の苗の生育不良 ⇒勉強会等による栽培管理技術の習得</li> </ul>

## 2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
No.14 ばうむ合同会社による地域資源（木材・米）活用の取組（嶺北地域全域）	「もくレース」(木製雑貨) 製造施設 拡張による増産体制の整備 (レーザー加工機及び PC 等関連機器の増設並びに製造工場の拡張)	34,145 (15,807)
No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興（本山町、土佐町、大豊町）	土佐あかうし増頭に伴う堆肥舎新設 (発酵槽、ロータリー攪拌機の整備)	54,000 (12,092)
No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化（大川村）	食鳥処理・加工施設の整備事業 (建屋、外溝工事、食鳥加工ライン、の整備)	350,001 (100,000)

## 3 県民参画に向けた取組

- ・土佐町地区長会での第3期計画の説明（4/20）
- ・土佐れいほく農協理事会での第3期計画の説明（4/27）
- ・本山町民生委員児童委員協議会総会・定例会での第3期計画の説明（5/18）
- ・本山町商工会総会での第3期計画の説明（5/20）
- ・大豊町商工会総会での第3期計画の説明（5/20）
- ・産業振興計画シンポジウム（5/23）への参加案内（㈱大豊ゆとりファーム、碁石茶協同組合、西峯集落活動センター、JA 土佐れいほく、土佐町森林組合、土佐地区商工会、土佐さめうら観光協会、集落活動センターいしはらの里、れいほく田舎暮らしネットワーク など）
- ・土佐の観光創生塾の受講の働きかけ（土佐さめうら観光協会）
- ・FAAVO 高知関連「嶺北を面白くするアイデアソン（7/5）」への参加の働きかけ（本山町、土佐町、大川村内住民）
- ・本山町区長会での第3期計画の説明（9/15）

## 4 相談案件：10 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	商業	店舗及び土地の活用について
2	5/26	農業	6次産業化について
3	5/26	移住	旧施設の活用について
4	6/14	国際交流	チェンマイとの交流について
5	7/6	交流	コミュニティセンターの有効活用について
6	8/2	農業	産地づくり（野菜選別機の整備）について
7	12/8	産業	小型風力発電について
8	12/22	交流	カヌー指導者の誘致について
9	1/5	観光	地域資源の活用（紅れん石）
10	1/5	交流	豆腐づくり体験施設の整備について